

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年10月12日 (2017.10.12)

【公表番号】特表2016-530312(P2016-530312A)

【公表日】平成28年9月29日 (2016.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2016-057

【出願番号】特願2016-542055(P2016-542055)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/81	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 K	6/083	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/08	(2006.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2017.01)
A 6 1 K	33/16	(2006.01)
A 6 1 K	33/24	(2006.01)
A 6 1 K	33/30	(2006.01)
A 6 1 K	33/06	(2006.01)
A 6 1 K	33/42	(2006.01)
A 6 1 K	8/34	(2006.01)
A 6 1 K	8/33	(2006.01)
A 6 1 K	47/22	(2006.01)
A 6 1 K	47/24	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 Q	11/00	(2006.01)
A 6 1 C	13/00	(2006.01)
A 6 1 C	13/08	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	8/81
A 6 1 P	1/02
A 6 1 K	6/083
A 6 1 K	45/00
A 6 1 K	47/10
A 6 1 K	47/08
A 6 1 K	47/32
A 6 1 K	9/08
A 6 1 K	47/34
A 6 1 K	33/16
A 6 1 K	33/24
A 6 1 K	33/30
A 6 1 K	33/06
A 6 1 K	33/42
A 6 1 K	8/34
A 6 1 K	8/33
A 6 1 K	47/22
A 6 1 K	47/24

A 6 1 K	47/14	
A 6 1 Q	11/00	
A 6 1 C	13/00	B
A 6 1 C	13/08	A

【手続補正書】**【提出日】**平成29年8月30日(2017.8.30)**【手続補正 1】****【補正対象書類名】**特許請求の範囲**【補正対象項目名】**全文**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

口腔用組成物であって、

水と、低級アルキルアルコール、アセトン、及びこれらの組み合わせから選択される共溶媒と、を含む、溶媒、

酸性アクリレートモノマー単位、酸性メタクリレートモノマー単位、又はこれらの組み合わせを含む酸性コポリマー、

中性アクリレートモノマー単位、中性メタクリレートモノマー単位、又はこれらの組み合わせを含む中性コポリマー、並びに

任意に活性剤、を含み、

前記口腔用組成物が、約 6 重量%～約 18 重量%の水、約 30 重量%～約 80 重量%の共溶媒、合計で約 15 重量%～約 50 重量%の前記酸性コポリマー及び前記中性コポリマーを含み、各構成成分の重量%は、前記口腔用組成物の総重量に基づいており、

前記酸性コポリマー及び前記中性コポリマーが、前記口腔用組成物中に溶解され、

前記口腔用組成物が、水溶液と接触すると、表面上に被膜を形成することができる、口腔用組成物。

【請求項 2】前記口腔用組成物が、約 8 重量%～約 12 重量%の水を含み、前記口腔用組成物が、約 45 重量%～約 60 重量%の前記共溶媒を含む、請求項 1 に記載の口腔用組成物。**【請求項 3】**

口腔用組成物であって、

低級アルキルアルコール、THF、DMSO、イオン性液体、TEC、酢酸エチル、アセトン、及びこれらの組み合わせから選択される溶媒、

酸性アクリレートモノマー単位、酸性メタクリレートモノマー単位、又はこれらの組み合わせを含む酸性コポリマー、

中性アクリレートモノマー単位、中性メタクリレートモノマー単位、又はこれらの組み合わせを含む中性コポリマー、並びに

任意に活性剤、を含み、

前記口腔用組成物が、約 30 重量%～約 80 重量%の溶媒、合計で約 15 重量%～約 50 重量%の前記酸性コポリマー及び前記中性コポリマーを含み、各構成成分の重量%は、前記口腔用組成物の総重量に基づいており、

前記酸性コポリマー及び前記中性コポリマーが、前記口腔用組成物中に溶解され、

前記口腔用組成物が、水溶液と接触すると、表面上に被膜を形成することができる、口腔用組成物。

【請求項 4】

前記口腔用組成物が、前記口腔用組成物が水と接触した後約 30 秒未満で被膜を形成することができる、請求項 3 に記載の口腔用組成物。

【請求項 5】

前記口腔用組成物の稠度が、約 45 ~ 約 110 である、請求項 3 又は 4 のいずれかに記載の口腔用組成物。

【請求項 6】

前記溶媒が、イソプロパノール、プロピレングリコール、グリセリン、低分子量ポリエチレングリコール、エチレングリコール系エステルアルコール、及びこれらの組み合わせから選択される少なくとも 1 つの追加成分を更に含む、請求項 3 ~ 5 のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項 7】

前記酸性コポリマーの分子量が、約 5,000 ~ 約 500,000 であり、前記中性コポリマーの分子量が、約 10,000 ~ 約 100,000 である、請求項 3 ~ 6 のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項 8】

前記口腔用組成物が、合計で約 20 重量% ~ 約 48 重量%の前記酸性コポリマー及び前記中性コポリマーを含む、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項 9】

前記被膜が、表面を少なくとも 5 ストロークブラッシングした後に、前記表面の少なくとも 90%にとどまる、請求項 4 ~ 8 のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項 10】

前記口腔用組成物が、塩基性アクリレートモノマー単位、塩基性メタクリレートモノマー単位、又はこれらの組み合わせを含む塩基性コポリマーを更に含み、前記口腔用組成物が、約 0 重量% ~ 約 1.0 重量%の前記塩基性コポリマーを含む、請求項 3 ~ 9 のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項 11】

前記塩基性コポリマーと前記酸性ポリマーとの重量比が、約 0 ~ 約 1 : 10 であり、前記塩基性コポリマーと前記酸性ポリマーとの重量比が、約 1 : 100 ~ 約 1 : 15 である、請求項 10 に記載の口腔用組成物。

【請求項 12】

前記活性剤が、増白剤、抗う蝕剤、フッ化物送達剤、抗歯肉炎剤、歯石防止剤、抗歯垢形成剤、歯周活性剤、息清涼剤、悪臭抑制剤、歯の減感作剤、唾液分泌促進剤、矯味剤、バイオフィルム破壊剤、抗菌剤、麻酔剤、鎮痛剤、汚れ除去剤、着色剤、再石灰化剤、歯石軟化剤、及びこれらの組み合わせから選択され、前記活性剤が、フッ化物組成物である、請求項 3 ~ 11 のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項 13】

前記活性剤が、少なくとも 24 時間にわたる徐放性のフッ化物放出を提供する、請求項 3 ~ 12 のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項 14】

前記活性剤が、少なくとも 2 つの異なるフッ化物塩を含む、請求項 3 ~ 13 のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項 15】

前記活性剤が、フッ化ナトリウム、フッ化ストロンチウム、フッ化カルシウム、フッ化亜鉛、塩化カルシウム、硝酸カルシウム、リン酸カルシウム、リン酸水素カルシウム、リン酸二水素カルシウム、及びこれらの組み合わせから選択される、請求項 3 ~ 14 のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項 16】

口腔用組成物を歯科構造体に送達する方法であって、
口腔用組成物を提供することと、
前記口腔用組成物を前記歯科構造体に適用することと、
前記口腔用組成物を水溶液と接触させて、それにより前記歯科構造体上にポリマー被膜を形成することと、を含み、
前記口腔用組成物が、

水と、低級アルキルアルコール及びアセトンから選択される共溶媒と、を含む、溶媒、酸性アクリレートモノマー単位、酸性メタクリレートモノマー単位、又はこれらの組み合わせを含む酸性コポリマー、
中性アクリレートモノマー単位、中性メタクリレートモノマー単位、又はこれらの組み合わせを含む中性コポリマー、並びに
任意に活性剤、を含み、
前記酸性コポリマー及び前記中性コポリマーが、前記口腔用組成物中に溶解されている
、方法。